

海田町新庁舎整備基本計画策定及び基本設計業務の公募型建築プロポーザルに係る調査審議の結果について

1 特定結果

次のとおり、特定者と次点者を特定しました。

特定者	現代計画・野沢建築工房設計共同体 代表構成員：株式会社現代計画研究所（東京都練馬区豊玉北 6-4-4-201） 構成員：有限会社野沢正光建築工房（東京都世田谷区宮坂 3-14-15-102）
次点者	山下・車田設計共同体 代表構成員：株式会社山下設計関西支社（大阪府大阪市中央区南船場 2-3-2） 構成員：株式会社車田建築設計事務所（広島県広島市中区大手町 2-5-11）

2 審議概要

(1) 選定・特定の経緯

このプロポーザルは、新庁舎整備事業により、旧広島県海田庁舎の跡地を候補地として、平成29年3月に策定した海田町新庁舎整備基本構想に定めた方向性に基づき、海田町にふさわしい庁舎を新たに建設するため、新庁舎整備基本計画策定及び基本設計者を特定することを目的に実施されたものです。参加表明書の提出者6者の審査を行い、選定した5者に対して、技術提案書の提案を求めました。

その特定については、海田町新庁舎整備基本構想に掲げる庁舎建設コンセプトである「住民にとって安全・安心な庁舎」「利用者にとって利便性の高い庁舎」「効率的な行政運営を促進する庁舎」「住民参画・協働を促進する庁舎」「町の活性化に資する庁舎」「暮らしやすさを促進する庁舎」「開かれた議会とその活動を支える庁舎」の7つの評価テーマ、更に、業務の理解度及び取組意欲、業務の実施方針、全体事業期間の短縮に関する提案、全体事業費の圧縮に関する提案等の基準に基づき、技術提案書やヒアリング等の内容の審査を行い、特定者と次点者の特定を行いました。

(2) 講評

全体的にみて、本プロポーザルは評価項目が多く、提案者にとって力量の試されるものでありました。その中で、今回ご提案いただいた5者は、各者ともにレベルの高い、意欲的な提案となっていました。その中でも、特定者及び次点者は、海田町新庁舎整備基本構想の考え方や敷地条件等をよく理解され、海田町にふさわしい新庁舎としての的確で実現性の高い提案内容であると認められました。

特定者の提案は、7つの評価テーマ、全体事業期間の短縮及び全体事業費の圧縮の提案内容のバランスやその実現性に加え、提案内容の全体を通して設計業務に対する計画業務の重要性が十分に認識されていると感じられました。特に計画業務について、候補敷地や周辺地域の特性を読み取り、海田町ならではの魅力を建築に生かそうとされている点は、本件が計画策定と設計のプロポーザルであることに整合し、高く評価されました。また、高さを抑えた庁舎と敷地内外の積極的な緑化により、海田町の新たなランドマークを創出するとともに、周辺空間と一体となったまちづくりを提案され、周辺エリア全体の魅力向上に留意されている点も高く評価されました。更に、質疑応答への的確な対応により、提案意図や内容理解が深まった点を評価する意見もありました。

次点者の提案は、海田コラボやコラボデッキを含む広場や空間づくりに特徴があり、庁舎の玄関として、町民が集まるスペースづくりを図る提案であり、まちづくりの拠点となる庁舎としてよく考えられている点が高く評価されました。

上記2者の提案のほかに、災害時等に1階駐車場を天候に影響されることなく活用する提案、外観レイアウトの良さ、免震構造の新たな取り組み方法等、評価する意見が出されました。全体的に、各者ともそれぞれの理想や思いを反映した意欲的な提案となっていました。

3 審議経過等

(1) 審議内容

ア 評価基準、評価要領等の策定

「住民にとって安全・安心な庁舎」「利用者にとって利便性の高い庁舎」「効率的な行政運営を促進する庁舎」「住民参画・協働を促進する庁舎」「町の活性化に資する庁舎」「暮らしやすさを促進する庁舎」「開かれた議会とその活動を支える庁舎」の7つの評価テーマを含め、評価基準及び評価要領等を策定

イ 技術提案書の提出者の選定（第一次審査）

参加表明書の提出者（6者）について、技術提案書の提出者を選定するための基準による評価を行い、技術提案書の提出者（5者）を選定

ウ 技術提案書の特定（第二次審査）

提出された技術提案書（5者）について、公開ヒアリングを実施した上で、技術提案書を特定するための基準による評価を行い、特定者及び次点者の各1者を特定

(2) 審議経過

平成29年6月12日	審査委員会	評価基準、評価要領等の策定
平成29年6月13日	公募型建築プロポーザル公示	
平成29年6月27日	参加表明書の提出期限	6者提出
平成29年6月29日	審査委員会	技術提案書の提出者の選定（5者）
平成29年6月30日	技術提案書の提出要請	
平成29年7月19日	技術提案書の提出期限	5者提出
平成29年7月26日	審査委員会	公開ヒアリング、技術提案書の特定

(3) 審査委員会構成

[審査委員会委員（順不同・敬称略）]

氏名	役職等	専門分野
森保 洋之	広島工業大学 名誉教授	建築計画
山田 孝延	公益社団法人日本建築家協会中国支部 教育・表彰委員会委員長	建築デザイン
元廣 清志	公益社団法人広島県建築士会会長	建築設計・構造
宮崎 昌二	広島県土木建築局建築技術部長	建築行政
山岡 崇義	海田町自治会連合会会長	住民代表
吉田 栄二	広島安芸商工会会長	住民代表
鶴岡 靖三	海田町企画部長	施設主管
久保田 誠司	海田町建設部長	施設主管